

事件について

新津市長

斎藤富雄

六月二十二日午後四時四十分頃、市役所会議室で、社会福祉事務所長の宮崎富成、保護係長が応対していた男に刺殺されるという事件が発生しました。誠にショッキングな、しかも考えられない事態に遭遇したわけで未だ信じる事ができません。完全に逆うらみによる凶行といわざるをえず、心痛のきわみです。

できたものです。部外者から見られないようにして行う市民の皆さんからの相談活動はその一例であり、職員二人による相談体制は、基本的な人権の尊重と誠意ある行政対応、そして職員の安全面をも調和させるぎりぎりのものであったと信じています。今後これらの至上命題の調和を可能な限り追求し、一層の行政サービスの向上をめざして、職員ともども業務を遂行していく所存です。市民の皆様のご理解をお願いいたします。

リレー随想



(206)

隣の猫に思う

車場二田村倫子

わが家を建てたのが、昭和五十九年十一月。初めは忙しくて全く気にならなかった隣の猫。春になってお日様がボカボカと暖かくなると、黒い猫が、レンガの上や玄関で寝ている。近づくと、のそのそ歩き出して行ってしまう。最近猫の姿が見えないと思ったら、糖尿で一月入院、今は通院中とのこ。隣の奥様の話では、人間の食べている栄養価の高い物を食べさせ

猫は子猫のときに粗食にしてやらないと、ごはんや味噌汁、魚の骨などは食べないそうである。自然の中で育った動物は、やたらな物は食べない本能があるが、人間に飼われている動物にはそれが失われてきている

猫は子猫のときに粗食にしてやらないと、ごはんや味噌汁、魚の骨などは食べないそうである。自然の中で育った動物は、やたらな物は食べない本能があるが、人間に飼われている動物にはそれが失われてきている

のだろう。これは人間にもいえることである。

私の小さいころは、ハム、ソーセージが出たばかりで、今のように加工品や添加物は氾濫していなかった。食べ物も親が料理した物しかなく、煮物、焼物、もぎたての野菜、取り立ての魚などで過ごした。冷蔵庫も少なくて、またなかつた時代であった。今は何でも手に入る飽食の時代。子どもたちに本物の味を知ってほしいと強い望みをかけ、できるだけ手作りに心がけている。味噌・砂糖・醤油などの調味料に注意し、自然に近い物を求め悪戦苦闘している昨今である。私たちは普通の食事をしてると、一日八十種類以上の食品添加物を食べていることになるそうである。

知恵と引き換えに人間の本能が退化している現在、自然をいたわり、感謝出来るようにならないと、化学的な食品しかなくなるのでは心配になる。こんなことを思わせてくれた隣の猫さんに感謝して、一日も早く元気になってほしいと祈る。

このバトンを田家一の松田和男さんにリレーします。

秋葉山の野生動物④



写真は幼獣

ホンシュウジネズミ (トガリネズミ科)

撮影場所：秋葉山山中
平成元年4月撮影

山にはネズミ、モグラの類がたくさん棲んでいます。彼らは昼間でも活動し、ミミズや幼虫などを食べます。ときには、草の根っこを食べることもあります。注意して観察していると、ときどき落ち葉の下でごそごそ動いている気配や、草がだんだん地面の中へ引っばられていくのが見られます。これらのネズミやモグラ類は、とかく私たちに嫌われがちですが、害虫の幼虫を食べてくれたり、また、自らもフクロウ類やタカ類の餌となったりします。彼らの掘った穴は、木や草の根に新鮮な空気を送ってくれたりするので、自然界にはなくてはならない存在です。

(小林信行 秋葉2)

※秋葉山の野生動物は、今回で終了させていただきます。次号は、まとめとして「秋葉山の自然」について執筆してもらう予定です。

新津市の人口

男 31,267 (-8)
女 33,550 (+5)
計 64,817 (-3)
世帯数 17,522 (+10)
5月中の動き

5月31日現在
(○内は前月比)

出生 53 死亡 28 転入 120
転出 148 結婚 37 離婚 4

＝新製品好評発売＝

日本海名産 甘じりパイ

北国小僧

登録商標

にいつ 式サカヤ

日本海でとれた新鮮な甘えびをパイに折込んだ風味豊かなパイのお菓子です。カルシウムのたっぷり入ったパリッとした日本海の風味をご賞味下さい。

コーヒ一祭り 100g 280円 7月は7日(金)8日(土)9日(日)の3日間

本町2 ☎22-0112

